

6 がっひかりごう

令和4年6月1日 輝保育園

雨が降る日が多くなり、いよいよ梅雨入りです。 戸外遊びが出来なくなりますが、室内では、パズル等、頭や指先を使う遊びに夢中な子ども達。 室内ならではの、遊びに取り組みたいと考えています。 春から初夏、梅雨と、子どもたちが季節の移り変わりを体感するには良い時期とも言えます。 園では自然観察など、気付きを促すような活動をしていきたいと考えています。

【夏至】

夏至とは、昼の長さが一年で最も長い日です。

夏至の日は6月21日となっています。

夏至の時期の旬の食べ物は「たこ」、「とうもろこし」、「メロン」、「はも」などがあります。

この時期には「あじさい」がきれいに咲くと云われています。



=== ナース・レポート ===

【6月4日～10日は「歯と口の衛生週間」です】

歯の表面についた歯垢を食べかすだと思っている人はいませんか？

歯垢は実は生きている細菌のかたまりです。

0.001gの歯垢の中には、約300種類の細菌が、なんと約1億個もいるそうです。

この細菌のかたまりの歯垢が、虫歯や歯周病を引き起こす原因なのです。

歯みがきをせずに、歯垢を放っておくと、中の細菌はどんどん増えて分厚くなります。

歯垢はネバネバしたのですが、だんだん硬くなり、やがて歯みがきでは取れなくなってしまいます。

これが歯石です。

歯垢は2週間くらいで歯石になります。

歯は、一生の間、毎日欠かさず使う大切な物。

歯ブラシは1ヵ月を目安に交換をし、きちんと歯磨きをして、しっかり守っていきましょう！！

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

生活習慣は育ちの基礎

2. 生活習慣づくりは幼児期から始めましょう！

生活習慣は、大きくなれば自然に身に付くというものではありません。

親の正しいつけによって形成されます。

「鉄は熱いうちに打て」という諺がありますが、幼児期からしつけていき、遅くとも9才頃までには身に付けさせるようにしたいものです。

時機を逸すると簡単なこともできなくなり、心身の発達に望ましくない影響が出てくるからです。

3. 親の忍耐力・姿勢が大事です！

生活習慣は、「〇〇をしなさい！」と口先だけで言うことができるようになるものではありません。

親が子どものために環境を整えるとともに、子どもをリードし、言われなくても自発的にできるようになるまで同じことを毎日くり返すことが大切です。

その意味では、親の忍耐力が問われます。

また、子どもは「親の後ろ姿を見て育つ」という言葉があるように、親の生活態度・習慣が子どもの生活習慣の形成に大きな影響を与えます。

親自身も自分の生活を見直してみましょう。

「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

こどもよす

たんぽぽぐみ
0才児



園での生活にも慣れ、食事を楽しんだり、遊んだりすることで、子どもたち一人ひとりが保育士との関係を築き、信頼出来る存在に変わりつつあります。「型はめ」や「コイン落とし」などの玩具で遊んでいて、上手くできないと「できないよ、して〜」と玩具を渡してくれたり、保育士がそばを離れると悲しくて涙を流したり、抱っこを求めて両手を広げたりと様々な感情をしっかりと伝えてくれます。 また、美味しい給食を食べたときや、コインやボールが転がっていく様子が楽しかったり、面白い、楽しい気持ちになり、笑顔の時間も多くなりました。2ヵ月の間で、園で過ごす時間が生活リズムの一部となり、伸び伸びと過ごせるようになったようです。 これからは、ハイハイをしたり、歩いたり、走ったり、おしゃべりをしたりと、大きく成長する時期です。 これからは楽しみます。

たんぽぽぐみ
1才児



2ヵ月が過ぎ、登園時も泣くことが少なくなり、自分の思いを十分に出しながら過ごすことが出来るようになってきました。 天気の良い日は、戸外に出てたくさん遊んでいます。 鉄棒にぶら下がったり、滑り台の側面からよじ登ったり、ボールを蹴ったり投げたりと、活発に動いて遊んでいます。 友だちがしているのを見ると「わたしも」、「ぼくも」とやってくる子どもたちです。 低月齢の子は歩けるようになったことが嬉しくて、園庭を歩き来することを楽しんでいきます。 友だちに興味が出て来る時期ですが、まだ上手な関わり方がわからず、押し合い、引っ張り合いになってしまうこともあります。 その都度、「〇〇したかったね」、「△△ちゃんはこうしたいみたいだよ」など、その子の思いを受け止めること、相手の思いを知らせることを大切に関わっています。

すみれぐみ
2才児



連休明けは、登園時や活動の中で、寂しさから泣き出す姿も見られましたが、最近は、好きな遊びを思い切り楽しむ姿が見られるようになり、すみれ組生活に慣れてきました。 また、休日の出来事や家族のことを「あのね〜」と楽しそうに聞かせてくれます。 友だち同士でも、簡単な言葉のやり取りを楽しんでいます。 5月は「話を聞くときは静かにする」、「椅子の座り方」、「扱い方」、「遊んだ後は片付ける」などに重点を置いて取り組んできました。 しかし、おやつや給食の時間に、椅子やテーブルに足を上げたり、突然立ち上がり遊び始めたりする姿も見られます。 園でも、足は上げない、食事中に立ち上がらない、遊ばないなど、食事のマナーを伝えています。 ご家庭でも、そのような姿が見られたら、声掛けをし、楽しい食事ができるようご協力よろしくお願いします。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



虫探しや追いかけっこ、砂遊びなど、夫々が夢中になって楽しむ姿が増えてきました。 なかでも追いかけっこは友達との関わりが生まれ、面白さを共有しやすい遊びの1つであるため、遊びが持続しています。 一方で、楽しさから気持ちが高まりすぎ、危険な行動をとる姿が見受けられます。 具体的には「押す」、「引っ張る」、「玩具を持ったまま走り、振り回す」、「遊具の上で追いかける」などです。 その都度、個別に声をかけ行動を振り返って危険性を伝え、大怪我のリスクが高い場合は、厳しく注意をすることもあります。 楽しむ気持ちと同時に、話を理解し約束を守る自制心が今後の課題と捉えています。 良い行動や悪い行動がある事に気づき、自分なりの善悪の基準を作っていく大事な時期です。 まずは、「相手の目を見て話を聞く」という習慣を身に付けていきましょう。

ばらぐみ
4才児



保育園の園庭のそばで育てている中玉トマトの苗に、緑色の実が付き始めました。 気づいた子どもたちは、じっと見つめて静かに観察しています。「まだ赤くないね」との声も聞かれ、トマトの成長の過程に関心を持っている様子がかがえます。 また園庭での虫探しにも夢中になっていて、見つけた虫はバケツや虫かごに入れて大事そうに持ち歩いています。 室内へ戻るときには、虫がうちに帰ることができるようにと逃がす場所にも気を付けていました。 生き物の命を大切にしている心が育っていると感じています。 気温の高い日が続いています。 子どもたちからも、「汗かいたから着替える」、「暑いからお茶飲んでこよう」といった言葉が出るようになりました。 6月は、暑い季節の過ごし方に対する意識がクラス全体に広がり、さらに定着するよう活動していきます。

ひまわりぐみ
5才児



年長組にもずいぶん慣れ、誕生会で司会をしたり、出し物で歌を披露したりしました。 司会は誕生日の友だちの名前を覚えて呼んだり、質問したりしながら会を進めます。 出し物を、同をじグループの友だちと話し合っ決めていきます。 「〇〇は？」、「いやだ？」、「じゃあ、何にすると？」などとやり取りしながら自分達で決めていきますが、グループによってはなかなか決まらずイライラする姿も見られます。 自分の気持ちを伝え、友だちの話や気持ちも聞き入れながら折り合いをつけていけるように子ども同士の話し合いの経験を増やしていきたいと考えています。 また、6月からは運動会へ向けて鼓隊に取り組んでいきます。 まずは果物の名前に合わせてリズムを覚えます。 友だちと心をつなげて取り組む楽しさを味わい、クラスの団結力が高まることを期待しています。

= 6月の行事予定 =

- 7日(火) 避難訓練
- 24日(金) お誕生会・身体測定
- 29日(水) 「絵本と音の玉手箱」鑑賞

